

# 令和4年度 事業実施報告書

## I 国際交流の活発化 1,920,147 円

※決算額は管理費部分を除く純事業費を記載

### 1. 外国人の受入れ拡大事業 1,794,048 円

地理的・歴史的に本県とのつながりが深い北東アジア地域について、県や関係団体等と連携しながら、民間レベルでのより一層の相互交流の拡大を目指した。

#### (1) 北東アジア友好交流促進事業

##### ア 黒龍江省との友好交流促進事業

###### (ア) 日本語教師派遣事業(県委託事業)

中国黒龍江省への日本語教師派遣に対し助成する予定であったが、新型コロナウイルスの影響で中止した。

###### (イ) 黒龍江省との交流事業

令和4年は日中国交正常化50周年に当たり、関係機関とともに実行委員会を組織し、記念事業等を実施した。

また、黒龍江省対外友好協会等と連携し、黒龍江省で日本語を学ぶ学生による日本語スピーチコンテストを実施予定であったが、新型コロナウイルスの影響で再延期した。

##### イ モンゴル国との友好交流促進事業

###### (ア) モンゴル国への技術協力事業

(特活)新潟県対外科学技術交流協会ほか関係団体とともに実行委員会を組織し、次の事業を実施した。

###### ①モンゴル国中小企業等への技術協力事業〔新潟・国際協力ふれあい基金事業〕

モンゴル国における製造業を中心とする技術力の向上及び地域の経済発展に貢献することを目的に研修生を受け入れた。

###### ②東ゴビ砂漠における緑化推進技術協力事業〔JICA 草の根技術協力事業〕

東ゴビ砂漠に位置するドルノゴビ県の中心であるサインシャンド周辺の緑化に貢献することを目的に専門家を派遣した。

## (イ) モンゴル国との交流事業

令和4年は日本モンゴル外交関係樹立50周年、新潟モンゴル名誉領事館設置15周年に当たり、関係機関とともに実行委員会を組織し、記念事業等を実施した。

また、新潟県との交流を推進する目的でモンゴル国内に設立された「モンゴル・新潟親善協会」及びモンゴル・日本人開発センターと連携し、モンゴル国で日本語を学ぶ学生による日本語スピーチコンテストを実施した。

- ・期 日：令和4年9月17日（土）
- ・会 場：モンゴル・日本人材開発センター
- ・参加者：9名（来場者約60名、動画配信再生回数（当日のみ）1,900回）

## ウ 北東アジア友好交流促進事業

新潟総領事館等の外国公館をはじめとする関係機関と連携して友好交流促進事業を実施した。

## (2) 留学生就職支援セミナーの開催

留学生の県内企業への就職を支援するため、関係機関と連携し日本での就職活動における留意事項、就業に際して必要な知識及び就職情報などを提供するセミナーを実施した。

- ・期 日：令和4年11月9日（水）
- ・会 場：朱鷺メッセ
- ・参加者：留学生18名、企業関係者等24名
- ・内 容：

### ①講演「就職のための在留資格を学ぼう」

東京出入国在留管理局 在留支援部門

在留支援担当統括審査官 安本 大輔 氏

### ②講演「企業と就職した元留学生が語る就職事情」

県内4企業からの企業紹介と就職した元留学生の体験談の発表

### ③参加企業とのフリートーク



留学生就職支援セミナー

## 2. アジアを知る事業 96,059円

### (1) 国際理解セミナーの開催

多様な姿で急速に発展し、世界の中で重要な役割を果たすようになっていくアジア地域の社会・文化等を学ぶ国際理解セミナーを県内4地区で開催し、延べ131名が参加した。

#### 第1回

- ・期 日：令和4年10月15日（土）
- ・会 場：新潟日報メディアシップ  
（ハイブリッド開催）
- ・テーマ：もっと楽しいフィリピン
- ・講 師：新潟フィリピン協会 会長  
スティーブソン・アロソ 氏
- ・参加者：37名



10月15日(土)新潟会場

#### 第2回

- ・期 日：令和4年10月22日（土）
- ・会 場：柏崎市市民プラザ（ハイブリッド開催）
- ・テーマ：枯渇性エネルギーから自然エネルギーへ～中国の動向～
- ・講 師：新潟産業大学 教授 絹川 ゲニイ 氏
- ・参加者：30名

#### 第3回

- ・期 日：令和4年11月3日(木・祝)
- ・会 場：新潟食料農業大学胎内キャンパス  
（ハイブリッド開催）
- ・テーマ：インドネシアの食と農
- ・講 師：新潟食料農業大学 副学長  
中井 裕 氏、インドネシア人留学生
- ・参加者：45名



11月3日(木・祝)胎内会場

#### 第4回

- ・期 日：令和4年11月26日(土)
- ・会 場：新発田市健康長寿交流アクティブセンターあおり館（対面開催）
- ・テーマ：ベトナムの首都ハノイの経済を支える出稼ぎ労働者たち
- ・講 師：敬和学園大学 准教授 長坂 康代 氏
- ・参加者：19名

### 3. 受け皿整備事業 30,040円

#### (1) ホストファミリー整備事業

国際理解の推進と海外からの来県者のホームステイ先の拡充を図るため、ホストファミリー講座を開催するとともに、希望家庭を対象に留学生や外国語指導助手(A L T)のホームステイ受入れ体験を実施する予定であったが、新型コロナウイルスの影響で中止し、「ホームステイ事業のあり方検討会」(オンライン)を開催した。

- ・期 日：令和5年1月31日(火)
- ・内 容：ウイズコロナ時代におけるホームステイのあり方について、関係機関で情報交換・意見交換を実施
- ・参加者：関係機関9名



ホームステイ事業のあり方検討会 (オンライン)

## II 国際協力活動の支援 5,676,477 円

### 4. 新潟・国際協力ふれあい基金助成事業 5,676,477 円

#### (1) NGO 等への助成

海外の開発途上国などで活躍する NGO の人道援助活動等に対する財政支援等を通じ、新潟からの国際協力の推進を図ることを目的に、「新潟・国際協力ふれあい基金」の運用益をもとに助成金を交付した。

- ・助成実績：6 件、計 4,931,000 円

#### (2) 基金運営

##### ア 審査委員会の運営

助成対象の審査等を行う審査委員会を開催した。

- ・期日：令和 4 年 12 月 9 日(金)
- ・会場：朱鷺メッセ中会議室

##### イ 募金活動

市町村役場や県内各地の日帰り温泉施設及び宿泊施設等に引き続き募金箱の設置を依頼し、広く県民に「新潟・国際協力ふれあい基金」事業の周知を図るとともに、県民から基金への寄附を募った。

##### ウ 募金実績

(単位：円)

	30 年度	元年度	2 年度	3 年度	4 年度
募金額	100,714	122,225	127,630	78,687	89,613
累計	15,831,211	15,953,436	16,081,066	16,159,753	16,249,366

#### (3) 新型コロナウイルスの影響

新型コロナウイルスの影響で、令和 3 年度に事業採択した 6 団体中、2 団体が事業中止となり、助成金を返還している。

令和 3 年度事業については、令和 3 年 12 月に審査委員会を開催し、令和 4 年 1 月に助成金を交付したが、事業対象期間が令和 4 年 1 月から令和 5 年 3 月までとなっていることから、助成金の返還は令和 4 年度中となる。

### Ⅲ 多文化共生の支援 17,363,150 円

#### 5. 国際理解推進事業 2,741,612 円

##### (1) 国際理解教育プレゼンテーションコンテストの開催

学校や地域における国際理解に関する学習や活動についてプレゼンテーションを行うコンテストを新潟県国際理解教育推進協議会と連携して開催した。

コンテストは中学生部門と高校生部門に分けて実施し、副賞として各部門最優秀チームに賞金 10 万円を贈呈した。

##### 【プレゼンテーションコンテスト】

- ・ 期日及び会場：12 月 17 日(土) 朱鷺メッセ
- ・ 参加チーム数：中学生部門 9、高校生部門 9
- ・ 最優秀賞：

〈中学生部門〉

Project “S” (新潟市立下山中学校)

「海のミライ～Glocal ってなに?～」

〈高校生部門〉

Jyonon (上越高等学校)

「Let's コミパシヤ!!」



国際理解教育プレゼンテーションコンテスト

##### (2) 県民向け広報誌の発行

県民の国際理解を促進するため、県内における国際交流や多文化共生推進の取組を県民に紹介する広報誌「NIA Letter」を発行し、県内高校・大学や公共施設等に配付した。

- ・ 発行時期：令和 4 年 9 月(第 24 号)、令和 5 年 3 月(第 25 号)
- ・ 配付先：【日本語版】県内高校・大学等、公民館、図書館、市町村、民間団体  
計 10,000 部  
【英語版】県内大学等、公民館、図書館、市町村等  
計 2,500 部

##### (3) 国際理解教育推進協議会の開催

県内の各学校における国際理解教育の推進を図ることを目的として、教育関係者や教育関係機関で構成する国際理解教育推進協議会を設置し、ともに活動を行っている。

また、協議会の総会を、令和 5 年 3 月 31 日(金)に朱鷺メッセで開催した。

#### (4) 国際交流プラザ講座・展示の実施

県民の国際理解を促進するため、新潟県国際交流プラザにおいて各種展示やイベントを実施した。

##### ア 夏休み子どもフェア

期間：令和4年7月29日（金）～8月26日（金）

##### イ ハロウィーンフェア

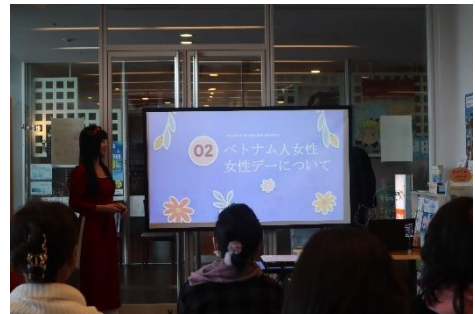
期間：令和4年10月3日（月）～10月28日（金）

##### ウ クリスマスフェア

期間：令和4年11月25日（金）  
～12月23日（金）

##### エ 国際女性デーフェア

期日：令和5年3月4日（土）



国際女性デーフェア

## 6. 在住外国人相談事業 10,721,846円

#### (1) 外国人生活相談の実施

県内の在住外国人が文化・習慣や制度の違い等から直面している生活上の諸問題の解決をサポートするため、新潟県からの委託を受け「外国人相談センター新潟」において相談業務を実施した。

- ・対応言語：9か国語（日本語、英語、中国語、タイ語、フィリピン語、ベトナム語、スペイン語、ポルトガル語、ロシア語）  
他に通訳ソフトを利用することで83言語に対応
- ・相談件数：775件（65件／月）
- ・相談内容：①入管手続 ②雇用・労働 ③教育 ④身分関係 ⑤交通・運転免許
- ・専門相談

定期的に専門家による相談会を実施した。

教育相談	（週1回）	19件
行政書士相談	（月1回）	53件
入管手続相談	（月1回）	15件
弁護士相談	（隔月）	22件



外国人相談センター新潟



## (2) 相談員・通訳員の育成

県内で外国人生活相談に対応する相談員や通訳員の資質向上を図る研修会を実施した。

外国人生活相談担当者実務研修

- ・期日：令和4年11月5日（土）
- ・方法：オンライン開催
- ・講師：臨床心理士 田中 ネリダ 氏



外国人生活相談担当者実務研修

## (3) 相談関係機関との連携

相談関係機関と連携して、次の相談会を開催した。

ア 外国人向けワンストップ無料相談会

- ・連携機関：新潟県外国人材受入サポートセンター、県行政書士会、  
県弁護士会、新潟雇用労働センター等

- ・期 日：令和4年7月29日（金）
- ・会 場：万代島ビル会議室

イ 外国人のための出張相談会

- ・連携機関：県行政書士会
- ・期 日：令和4年11月7日（月）
- ・会 場：東京入管新潟出張所（新潟空港）

## 7. 在住外国人支援事業 2,287,418円

### (1) 外国につながる児童生徒等の教育支援

子どもたちが国籍にかかわらず安心して学び成長できる地域社会の実現を図るため、次の事業を実施した。

ア 外国につながる児童生徒及び保護者等を対象に、通訳者等を交えた進路ガイダンスを上越市において開催した。

- ・期 日：10月8日（土）
- ・会 場：上越市市民プラザ
- ・参加者：46名

イ 教育相談員による電話教育相談（毎週火曜日）を開催した。

ウ 当協会が事務局を担う「新潟県外国につながる児童生徒等教育支援ネットワーク協議会（通称：新潟県多文化子どもネット）」において、課題解決に向けた研修会を開催した。



(第1回)

期日：令和4年8月29日（月）ハイブリッドセミナー

場所：朱鷺メッセ

講演：「なぜ学校で日本語を学ぶのか～高校における日本語指導・  
教科学習支援の現状を踏まえて～」

講師：東京学芸大学教職大学院 教授 齋藤 ひろみ 氏

報告：敬和学園高等学校 助教諭 臼杵 由美子 氏

(第2回)

期日：令和5年3月19日（日）

場所：朱鷺メッセ

講演：「CARPE DIEM～今を生きる～」

講師：愛知県立御津高等学校 教員 伊木 ロドリゴ 氏

(2) 技能実習生と地域をつなぐ交流事業（新規）

技能実習生と地域住民の相互理解・共生を促進するため、モデル的に技能実習生と地域住民との交流会を開催した。

期 日：令和5年1月29日（日）

会 場：聖籠町網代浜会館

参加者：技能実習生10名、地域住民等20名

(3) やさしい日本語研修事業（新規）

やさしい日本語を普及するため、外国人住民と接する機会の多い行政職員を対象に研修会を開催した。

(第1回)

期 日：令和4年10月7日（金）

会 場：クロスパルにいがた（新潟市）

(第2回)

期 日：令和4年11月10日（木）

会 場：柏崎市役所



やさしい日本語研修会（柏崎市）

(4) 地域の多文化共生推進事業（新規）

関係機関と連携して、在住外国人の生活・意識調査を実施するとともに、その結果を踏まえ、「多文化共生シンポジウム」を開催した。

・生活・意識調査：アンケート調査1,044人（令和4年10月実施）

・シンポジウム：

期 日：令和5年2月7日（火）

会 場：新潟日報メディアシップ（新潟市）

参加者：107名

## (5) ウクライナ避難民支援事業（新規）

ウクライナイ避難民の生活を支援するため、ボランティア通訳の派遣や避難民が集まり悩み事相談や情報交換を行う「ウクライナおしゃべりカフェ」を開催した。

- ・ボランティア通訳

ロシア語 25 名、ウクライナ語 2 名

- ・ボランティア通訳研修

期 日：令和 4 年 6 月 11 日（土）

講 師：特定非営利活動法人国際活動市民中心（CINGA）

コーディネーター 新居 みどり 氏

参加者：14 名

- ・ウクライナおしゃべりカフェ

期 日：令和 5 年 3 月 25 日（土）

会 場：新潟市内

参加者：ウクライナ避難民 3 名、ウクライナ語ボランティア通訳 1 名

ロシア語ボランティア通訳 1 名、スタッフ等 5 名

## 8. 留学生支援事業 1,612,274 円

### (1) 留学生交流推進員事業

県内大学の留学生を活用し国際交流や多文化共生活動の活発化を図るため、国際交流等の活動に意欲のある 29 名の留学生を「留学生交流推進員」に任命した。

交流推進員には活動支援金を交付し、当協会や関係団体の主催事業に参画してもらおうとともに、自主的に国際交流イベントを企画・実施してもらった。

- ・任 命 式：令和 4 年 4 月 19 日（火）（オンライン開催）

- ・活動報告会：令和 5 年 3 月 17 日（金）（オンライン開催）

- ・活動状況

活動件数 35 件

派遣延べ人数 149 名



スポーツ交流会への参加



「少年自然の家」での母国紹介

## IVの1 基盤強化（民間活動活発化） 2,894,891円

### 9. 民間団体助成事業 2,247,035円

#### (1) 国際化推進活動助成金の交付等

##### ア 国際化推進活動助成金

民間団体等が実施する国際交流等の活動を支援し、地域における活動の一層の促進を図るため、活動助成金を交付した(年2回)。

- ・助成実績：民間団体等 15 団体、計 2,185 千円
- ・事業内容：国際交流、国際協力、人材育成、多文化共生推進等

##### イ 海外県人会等との青少年交流支援

県と連携し、海外県人会と県内高校との交流を実施した。

- ・ベトナム・ホーチミン新潟県人会と県立三条高等学校との交流

#### (2) 国際交流プラザの貸出

民間団体の国際交流活動を促進するため、国際交流プラザの貸出を行った。

- ・利用時間：原則として平日・土日・祝日の9時～21時
- ・利用件数：40件

### 10. 市町村・民間団体ネットワーク構築事業 29,858円

#### (1) 国際交流連絡会議

市町村や民間団体等と情報交換・意見交換を行う国際交流連絡会議をオンラインで開催した。

期 日：令和4年4月28日(木)

参加者：47団体57名

### 11. 在外県人会等活動支援事業 617,998円

ブラジル、ホノルルの各新潟県人会に対し、活動を支援するための助成金を交付した。

団 体 名		助成額 (円)
ブラジル	新潟県人会	449,999
ホノルル	新潟県人会	149,999
合 計		599,998

## IVの2 基盤強化（人材育成） 1,951,484円

### 12. 人材育成事業 1,951,484円

民間国際交流団体の人材育成や次世代を担う若者の国際理解の推進を図るため、講座やワークショップ等を開催した。

#### (1) NGO スタッフ育成事業

国際交流・国際協力等を目的に設立された NGO 団体のスタッフやこれから NGO 活動を始めたい人を対象とするセミナーを(特活)にいがた NGO ネットワークに委託して開催し、NGO で活躍する人材の育成を図った。

- ・期 日：令和5年2月25日（土）
- ・会 場：新潟市立中央図書館（ほんぽーと）
- ・テーマ：「新潟から世界への挑戦！  
－ SDGs の達成に向けて －」
- ・講 演：NPO 法人 アジアクラフトリンク  
事務局長 大場 寛之 氏
- ・発 表：新潟県立中等教育学校 グローカル部
- ・ワークショップ：にいがた NGO ネットワーク国際教育研究会 RING  
企画副委員長 関 愛 氏  
認定 NPO 法人フリー・ザ・チルドレン・ジャパン  
代表 中島 早苗 氏



国際協力人材育成セミナー

#### (2) ボランティアバンク運営事業

国際交流イベントを支援する意志のある方を「通訳・翻訳ボランティア」や「アースサポーター(イベント運営ボランティア)」としてボランティアバンクに登録し、主催者からの要請に基づきボランティア保険を付けて派遣した。

##### ア 通訳・翻訳ボランティア、アースサポーターの活用

- ・通訳・翻訳ボランティア登録者数 316名  
(英語 188名、中国語 56名、韓国語 26名、ベトナム語 9名、  
スペイン語 6名、モンゴル語 4名、ロシア語 19名、その他の言語 8名)
- ・アースサポーター登録者数 141名
- ・イベント等への派遣 要請2件、派遣7名

#### イ 通訳・翻訳ボランティアセミナーの開催

登録者を対象に通訳技術の向上等を図るセミナーを開催した。

- ・期 日：令和5年3月18日（土）
- ・会 場：朱鷺メッセ
- ・内 容：講演「通訳初心者として知っておくこと&やっておくこと」  
及びグループワーク「通訳初心者実践」
- ・講 師：関西外国語大学 外国語学部英米語学科  
教授 袖川 裕美 氏
- ・ファシリテーター：（一社）新潟県通訳翻訳協会  
事務局長 高井 亜矢子 氏  
事務次長 久保田 香里 氏
- ・参加者：43名

#### (3) 国際交流ファシリテーター養成事業

5大学と連携し、研修を受けた大学生・大学院生を国際交流ファシリテーターに委嘱し、小中高生を対象に国際社会への関心と学習意欲を高めるための国際理解ワークショップを実施した。

- ・連携大学：新潟国際情報大学、敬和学園大学、新潟県立大学、  
上越教育大学、新潟大学
- ・国際交流ファシリテーター：77名  
（新潟国際情報大学19名、敬和学園大学6名、新潟県立大学28名、  
上越教育大学13名、新潟大学11名）
- ・派遣実績：県内28校（オンライン開催含む）  
（小学校12校、中学校6校、中等教育学校2校、高等学校6校、  
その他2校）
- ・テ ー マ：「SDGs」の達成項目に関連した内容

#### (4) 国際理解教育推進支援事業

（特活）にいがたNGOネットワークに委託し、県内における国際理解教育の充実・進展を図るため、小・中・高等学校等の教職員、学生、一般県民等を対象にした、セミナーを3回開催した。

（第1回）

- ・期 日：令和4年8月28日（日）（オンライン開催）
- ・テ ー マ：「ロシアとウクライナの問題から考える」
- ・参加者：46名

(第2回)

- ・期 日：令和4年9月24日（土）
- ・会 場：上越教育大学
- ・テーマ：「平和教育ってどんなもの？」
- ・参加者：23名

(第3回)

- ・期 日：令和4年11月12日（土）
- ・会 場：クロスパルにいがた（新潟市）
- ・テーマ：「体感！異文化理解」
- ・参加者：21名

(5) 医療通訳等支援事業

外国人を取り巻く福祉・保健・医療の現状とアフターコロナに向けた課題について、関係者で意見交換を行うため、「関係者懇談会」を開催した。

- ・期 日：令和5年3月29日（水）
- ・会 場：クロスパルにいがた（新潟市）
- ・内 容：県内の外国人福祉・保健・医療の状況と課題  
在住外国人の生活・意識調査の概要報告等  
意見交換
- ・参加者：10名

(6) 災害時外国人支援人材育成事業

災害時の外国人支援について共通認識を持ち、有事の際に速やかな連携が図られるよう、行政職員、社会福祉協議会担当者、在住外国人、留学生交流推進員、当協会登録ボランティア等を対象とした「災害時の外国人支援セミナー」を実施した。

- ・期 日：令和5年1月21日（土）
- ・会 場：朱鷺メッセ
- ・内 容：講演「災害時の外国人支援とやさしい日本語」
- ・講 師：(公財)仙台観光国際協会  
国際化事業部 課長 須藤 伸子 氏
- ・発 表：イリンツェエワ・ディーナ 氏  
保坂 ロミ 氏
- ・参加者：37名



災害時の外国人支援セミナー

## IVの3 基盤強化（広報情報提供）

1,874,720 円

### 13. 広報・ライブラリー運営事業 426,489 円

県内団体や一般県民等に対し、国際交流や国際協力に関する情報及び当協会の事業等に関する情報を広く提供した。

#### (1) PR記事掲載

賛助会員の募集について朱鷺メッセのフリーペーパー「トッときガイド」を活用してPRした。

#### (2) 年次報告書の発行

当協会の事業について周知を図るとともに関係機関から事業推進への協力を得るため、令和3年度事業についてまとめた年次報告書を作成し、関係各所に配布した。

#### (3) プラザ・ライブラリー運営

各種情報資料(図書、ビデオ、CD、雑誌、新聞等)を整備し県民の利用に供した。

##### 【蔵書等の状況】

- ・ 図書・雑誌・新聞
- ・ 各種団体発行物
- ・ その他（県内外 NGO や全国の国際交流協会の機関誌、語学学習用教材等）



書籍・雑誌の配架

#### (4) 広報誌の発行(再掲)

県民の国際理解を促進するため、県内における国際交流や多文化共生推進の取組を県民に紹介する広報誌「NIA Letter」を発行し、県内高校・大学や公共施設等に配付した。

### 14. IT活用促進事業 1,198,420 円

多言語（104言語）に翻訳可能なホームページの運営を行い、各種情報を掲載した。また、県協会ニュースや関連団体の県内外イベント情報等を定期的にメールマガジンとして配信するとともに、Facebook やLINE でも情報を発信した。



**15. 賛助会員募集事業 62,061 円****(1) 賛助会員数の推移**

(単位：会員数)

	30 年度末	元年度	2 年度	3 年度	4 年度
個人	39	30	34	34	32
団体	56	51	52	46	51
計	95	81	86	80	83

**(2) 賛助会員へのサービス**

賛助会員向けに主に次のサービスを実施した。

個人会員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旅行会社利用割引</li> <li>・レストラン等利用割引</li> <li>・朱鷺メッセ関係施設等利用割引</li> </ul>
団体会員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際交流プラザの貸出(40 件)</li> <li>・国際化推進活動助成金の交付(15 団体、計 2,185 千円)</li> <li>・印刷機の利用</li> </ul>
個人会員 団体会員 共通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント案内等の送付</li> <li>・国旗貸出 (33 件)</li> <li>民族衣装貸出(9 件)</li> </ul>

**16. 国旗等貸出事業 187,750 円**

国際交流活動を行う賛助会員や団体に対して、世界各国の国旗や民族衣装・グッズ等の貸出を行った。

- ・貸出実績：国 旗 20 団体 33 件
- 民族衣装 8 団体 9 件



## V 新型コロナウイルス対策交付金事業 1,744,747 円

---

---

### 17. 新型コロナウイルス対策交付金事業 1,744,747 円

新型コロナウイルス対策交付金を利用し、以下の取組を行った。

- ① ハイブリッド型国際理解セミナー開催  
(3回開催分) 450,740 円
  
- ② 新型コロナウイルス感染予防に必要となる備品の購入  
(空気清浄機) 376,200 円
  
- ③ 新型コロナウイルス感染症対策のための職場環境の整備  
(タブレット購入、無線 LAN 環境の整備) 697,807 円
  
- ④ 協会ホームページの追加改修  
(オンライン決済機能の追加等) 220,000 円